

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-123456

(43)公開日 平成5年(1993)5月21日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 6 3 H 3/00

L 7339-2C

B 4 2 F 1/02

Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-315489

(22)出願日 平成3年(1991)11月1日

(71)出願人 000132471

株式会社セガ・エンタープライゼス

東京都大田区羽田1丁目2番12号

(72)発明者 日野 幸保

東京都大田区羽田1丁目2番12号 株式会

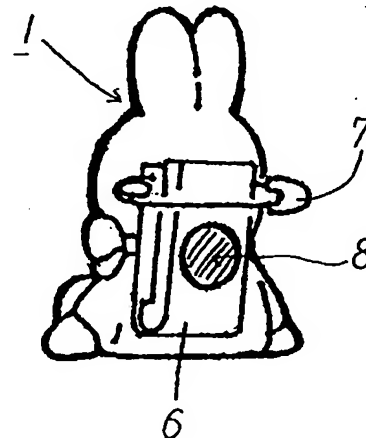
社セガ・エンタープライゼス内

(54)【発明の名称】 クリップ付きマスコット人形及びその製造方法

(57)【要約】

【目的】 より高級感を出すクリップ取付け人形とその製造方法を提供するものである。

【構成】 安全ピン7と磁石8を設けたクリップ体6をフロック加工したソフトビニール製の人形1の背中部に固定したことを特徴とするクリップ付きマスコット人形で、背中部に凹みを設けたソフトビニール製の人形に、該人形に密着し一部に開口を有するマスク型を被せて、該開口にスプレー塗装を施した後に該マスク型を外す塗装工程と、該塗装工程後に少なくとも背中部の凹みにマスクシールを貼付し、フロック加工を施すフロック加工工程と、フロック加工工程後に眼部材を人形の眼位置に差し込み接着し、人形の背中部の凹みに安全ピン7と磁石8を設けたクリップ体6を接着する取付工程から製造される。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 安全ピンと磁石を設けたクリップ体をフロック加工したソフトビニール製の人形の背中部に固定したことを特徴とするクリップ付きマスコット人形。

【請求項2】 背中部に凹みを設けたソフトビニール製の人形に、該人形に密着し一部に開口を有するマスク型を被せて、該開口にスプレー塗装を施した後に該マスク型を外す塗装工程と、該塗装工程後に少なくとも背中部の凹みにマスクシールを貼付し、フロック加工を施すフロック加工工程と、フロック加工工程後に眼部材を人形の眼位置に差し込み接着し、人形の背中部の凹みに安全ピンと磁石を設けたクリップ体を接着する取付工程からなることを特徴とするクリップ付きマスコット人形の製造方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、衣服等に付けられるマスコット人形に関し、特にクリップ付きマスコット人形及びその製造方法に関するものである。

【0002】

【従来技術】 従来、マスコット人形に安全ピン付きクリップを取付けたものが知られており、その製造方法はソフトビニール性の人形の顔とクリップ取り付け部分の部分をマスク型で覆い、着色する部分をスプレー塗装した後に、クリップ取付部にクリップを接着していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来のクリップ付きマスコット人形では、ソフトビニール製の人形に塗装を施しマグネット付きクリップが取付けられているだけであり、いま一つ高級感を醸し出すには至っていなかった。そこで本発明では、より高級感のあるクリップ取付け人形とその製造方法を提供する。

【0004】

【課題を解決するための手段】 安全ピンと磁石を設けたクリップ体をフロック加工したソフトビニール製の人形の背中部に固定したことを特徴とするクリップ付きマスコット人形である。その製造方法は、まず背中部に凹みを設けたソフトビニール製の人形に、該人形に密着し一部に開口を有するマスク型を被せて、該開口にスプレー塗装を施した後に該マスク型を外す塗装工程を行なう。そして塗装工程後に少なくとも背中部の凹みにマスクシールを貼付し、フロック加工を施すフロック加工工程を行ない植毛する。そのフロック加工工程後に眼部材を人形の眼位置に差し込み接着し、人形の背中部の凹みに安全ピンと磁石を設けたクリップ体を接着する取付工程からクリップ付きマスコット人形を製造する。

【0005】

【作用】 上記の構成によるマスコット人形は背中部のクリップ体にクリップ、安全ピン、磁石が設けられており、人形をクリップでポケット等に挟んだり、安全ピン

2

で衣服等の任意箇所に取り付けたり、磁石スチール製の棚等に取り付ける等幅広く取り付けることができ、マスコット人形にはフロック加工を施してあるので衣服等のアクセサリとなる。

【0006】

【実施例】 以下に本発明のクリップ付きマスコット人形とその製造方法を添付の図面を参照して説明する。図1は本発明に係るクリップ付きマスコット人形の正面図であり、ソフトビニール製で兎をデフォルメしたマスコット人形1としてある。マスコット人形1は手のひらに入るくらいの小型のもので、プラスチック製の眼2が別途取り付けられ、口3とマフラー4と服5がスプレー塗装されており、全体にフロック加工を施し、眼2のはっきりした兎が座っている形をしている。

【0007】 図2にはクリップ付きマスコット人形の背面図を示しており、マスコット人形1の背中部が縦長矩形に凹みが設けられており、この凹みに親指大ほどの大きさの洗濯バサミ状のクリップ6が接着して取付けられ、該クリップ6には安全ピン7と磁石8が設けられている。

【0008】 図3にクリップの全体図を示すと、クリップ6はプラスチック製の縦長矩形の側板を向かい合わせて構成され、洗濯バサミ状で先端部がワニ口形状をしており、金属バネ（図示せず）が内设されクリップを挟む方向に付勢している。さらに、クリップの軸着部6a付近のつまみ部6bの側面に設けられた軸受け6cに安全ピン7が回転自在に軸支される。クリップ6の下面には磁石8がはめ込まれ接着されている。クリップ6はポケット等に挟みマスコット人形2を留めるためのものであり、安全ピン7は服等に留めるためのものであり、磁石8はスチール製の壁面やホワイトボードに付けるためのものである。

【0009】 図4から図9にクリップ付きマスコット人形の製造方法の過程を示す。図4は白のソフトビニール製の成形人形であり、人形の内部は空洞になっており、図6に示すごとく底部に著作者表示等の彫刻部9をもっている。この人形の各部に塗装する工程を説明すると、人形の正面にフィットする立体的な正面のマスク型で人形正面を覆い、該マスク型は口元がバツェン状に開口している。そして正面からマスク型の上から口元の開口部分にスプレー塗装をして、塗料が乾き切ったところで人形から該マスク型を外すのである。

【0010】 次にマフラーの塗装を行なうために、人形にフィットする正面側のマスク型と背面側のマスク型で人形を覆い、この2つのマスク型はマフラー部分が開口しており、この開口部にスプレー塗装をして、塗料が乾いたところでマスク型を外すのである。服の部分の塗装についても、服の部分が開口している正面側と背面側のマスク型で人形を覆って塗装を行なうのである。この塗装工程は着色数に応じて行う。本例では図5の塗装工程

3

終了後の人形の正面図に示すごとく口、マフラー、服の3色を着色している。

【0011】次に図6のマスクット人形の底面図に示すごとく、底面の彫刻部9にマスクングシール10を貼り付け、彫刻が次のブロック工程で見えなくなるの防ぐ。図7のマスクット人形の背面図に示すごとくマスクット人形1の背中部の縦長矩形の凹み11にマスクングシール12を貼りつける。マスクット人形1の彫刻部9を支持針13にて支持し、接着剤をマスクット人形全体にスプレーにて吹き着け、繊維を短く切ってつくった毛羽14を電気植毛方法によって固着するブロック加工を行い毛羽を全体に植毛する。そして乾燥させた後にマスクット人形1の底面の彫刻部9のマスクングシール10と背中部の凹みのマスクングシール12を剥がす。このブロック加工によりマスクット人形1のマスクングシール10、12を貼っていない部分の全体に毛羽14が植毛されるのである。

【0012】図8はブロック工程後の毛羽が植毛されたマスクット人形であり、マスクット人形の両眼2の位置に其々画鋸状のプラスチック製の眼部材15を差し込み接着する。図9はマスクット人形にクリップを取り付ける側面図であり、最後にマスクット人形1の背中部の凹み11にクリップ6の背面を接着する。

【0013】以上述べた製造方法によりマスクット人形1は口3、マフラー4、服5がそれぞれ着色され、ブロック加工によりマスクット人形全体に植毛が施すことができ、マスクット人形の背中部に取り付け用のクリップ6が付けられるのである。

【0014】上記実施例の他に、クリップ6に固着される磁石8の代わりに、マグネットシートのような磁石を貼着させても差し支えない。また、磁石8代わりに、鉄板などの磁性体を用いて、マグネットボードにくっつけて遊ぶことも可能である。

【0015】

【発明の効果】以上述べたクリップ付きマスクット人形には、安全ピンと磁石が取り付けられたクリップが取り付けられているので、クリップ、安全ピン、磁石のいずれかで衣服あるいはスチール製の家具等の壁面に付けられ

4

るものである。また、クリップにメモ用紙等を挟んだままマスクット人形を机上の電気スタンドの金属部にくっつけておくことができ、実用的に役立つ面も備えている。さらにクリップは、マスクット人形だけでなく、バッチ、ワッペン、名札、装飾品などに取付けて使用することもでき、より一層の利用価値がある。

【0016】上述した製造方法によって、ブロック加工により薄毛が全体に植毛されたマグネット付きクリップの付いたマスクット人形が製造され、より高級感を醸し出している製品を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】クリップ付きマスクット人形の正面図である。

【図2】クリップ付きマスクット人形の背面図である。

【図3】クリップの全体図である。

【図4】白のソフトビニール製の成形した人形である。

【図5】塗装工程終了後の人形の正面図である。

【図6】マスクット人形の底面図である。

【図7】マスクット人形の背面図である。

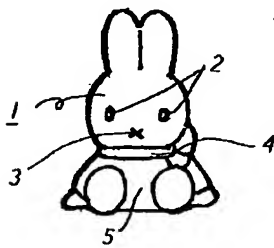
【図8】ブロック工程後の毛羽が植毛されたマスクット人形である。

【図9】マスクット人形にクリップを取り付ける側面図である。

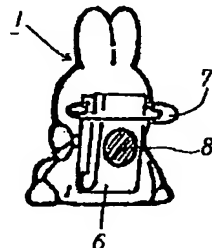
【符号の説明】

- 1…マスクット人形、
- 2…眼、
- 3…口、
- 4…マフラー、
- 5…服、
- 6…クリップ、
- 7…安全ピン、
- 8…磁石、
- 9…彫刻部、
- 10…マスクシール、
- 11…凹み、
- 12…マスクシール、
- 13…支持針、
- 14…毛羽、
- 15…眼部材、

【図1】



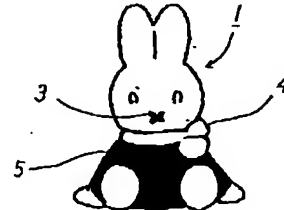
【図2】



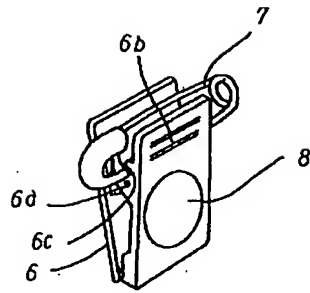
【図4】



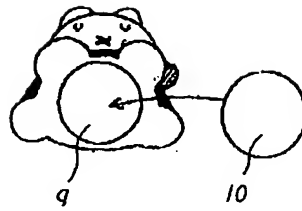
【図5】



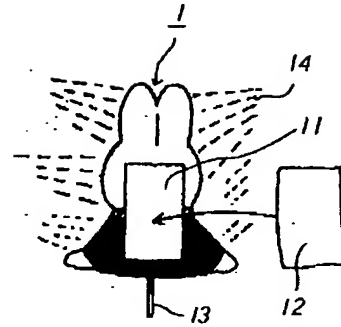
【図3】



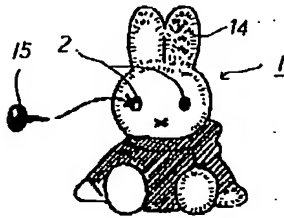
【図6】



【図7】



【図8】



【図9】

